

## 石垣りん「挨拶」定期テスト対策練習問題

年	組	番	名前
---	---	---	----

問1 「あ、この焼けただれた顔は」とあるが、「あ、」には作者のどのような心情がこめられているか。最も適切なものを次の中から選び○で囲みなさい。

ア：原爆写真を初めて見たときの驚き

イ：原爆の恐ろしさを今まで知ろうとしてこなかったことへの後悔

ウ：人間の姿とは思えないような写真に対する恐怖

エ：友の変わり果てた姿を見たことへの悲しみ

問2 「この焼けただれた顔は」とあるが、これはどんな人の顔のことをさしているか。詩の中の言葉を使って説明しなさい。

問3 「この焼けただれた顔は」とあるが、これと対比的に書かれている「顔」を2つ、詩の中から抜き出して答えなさい。

問4 「二五万の焼けただれのひとつ」とあるが、二五万の焼けただれとはなにか、詩の中から25字で抜き出して答えなさい。

問5 「すでに此の世にないもの」とあるが、①何がすでに此の世にないのか。また、②それはなぜか。それぞれ説明しなさい。

【①】

【②】



問6 「向き合った互の顔」とあるが、誰と誰の顔が向き合っていると考えられるか。次の中から最も適切なものを選び○で囲みなさい。

- ア：筆者と読み手
- イ：戦後の現代に生きる人々
- ウ：一九四五年八月六日に広島にいた人々
- エ：写真の中の顔と読み手

問7 「向き合った互いの顔」とあるが、誰と誰の顔のことか。詩の中からそれぞれ漢字1字で抜き出して答えなさい。

問8 「すがすがしい朝の顔を」とあるが、このあとに続くべき言葉を詩の中から7字で抜き出して答えなさい。

問9 「その顔の中に明日の表情をさがすとき」とあるが、「その顔」とはどんな顔か。詩の中の言葉を使って説明しなさい。

問10 「私はりつぜんとするのだ」とあるが、「りつぜんとする」とはどのような意味か、次の中から最も適切なものを選び○で囲みなさい。

- ア：怒りに震える
- イ：深く悲しむ
- ウ：恐ろしさにぞっとする
- エ：はっと驚く

問11 「私はりつぜんとするのだ」とあるが、それはなぜか。30字程度でわかりやすく説明しなさい。



問12 「生と死のきわどい淵を歩くとき」とあるが、筆者が「生と死のきわどい淵」を地球が歩いていると考える理由を詩中の言葉を使って説明しなさい。

問13 「何か近づいてきはしないか」とあるが、「何か」がさすものを詩の中から漢字2字で抜き出して答えなさい。

問14 「見きわめなければならないものは目の前に えりわけなければならないものは手の中にある」とあるが、どのようなことを伝えようとしているのか。最も適切なものを次の中から選び○で囲みなさい。

ア：解決すべき問題は、その気になればすぐ解決できるはずである

イ：私たちが力を合わせれば、問題は容易に解決することができる

ウ：私たちが解決すべき問題は、それぞれ個人が考えるべきである

エ：私たちが検討すべき問題は、すぐ身近にある

問15 「午前八時一五分は毎朝やってくる」とはどういう意味か。最も適切なものを次の中から選び○で囲みなさい。

ア：原爆が落とされた記憶は人々の心に毎朝蘇る

イ：原爆が落ちた「時間」は無常にも毎朝やってきて被災者を苦しめる

ウ：「時間」は毎朝やってくるので、私たちは前を向いて歩まなければならない

エ：原爆が落とされたような悲劇は、またいつでも起きうるのだ

問16 「なぜそんなにも安らかに あなたは美しいのか」とあるが、筆者が①安らかだと考えているもの、②美しいと考えているものをそれぞれ詩の中から抜き出して答えなさい。

【①】

【②】



問17 「油断していた」とあるが、なにを油断していたのか。最も適切なものを次の中から選び○で囲みなさい。

- ア：一瞬にして死ぬことになるとは思っていなかったこと
- イ：見きわめなければならないものが目の前にないこと
- ウ：戦争は終わったと思っていたこと
- エ：地球が生と死のきわどい淵を歩いていること

問18 「油断していた」とあるが、油断していた人々は、どうなったのか。詩の中から8字で抜き出して答えなさい。

問19 この詩で筆者が伝えたいこととして適切ではないものを、次の中から選びなさい。

- ア：原爆投下によって生まれる悲劇を二度と起こしてはならない
- イ：今でも原爆は存在しており、また悲劇が繰り返されるかもしれないという危機感を持つことが大切だ
- ウ：原爆の恐ろしさと心から向き合った時、私たちの顔は安らかで美しい
- エ：戦火の跡もとどめぬ現代でも、地球にはまだ原爆が存在していることを忘れてはならない

問20 次の詩の部分に使われている表現技法をそれぞれ答えなさい。

- ア：その時広島にいた人
- イ：地球が原爆を数百個所持して
- ウ：あなたの如く 私の如く

【ア】

【イ】

【ウ】



## 石垣りん「挨拶」定期テスト対策練習問題（解答）

問1 ア

問2 (例)一九四五年八月六日、原爆が落ちた時に広島にいた人

【解説】「一九四五年八月六日 その時広島にいた人」という文から考える。

その時とは、「一九四五年八月六日」のことで、それは原爆が落ちた時のことである。

問3 すこやかな今日の顔

すがすがしい朝の顔

※順不同

問4 一九四五年八月六日の朝一瞬にして死んだ二五万人の人

問5 ①(写真の中の)焼けただれた顔

②原爆によって亡くなって(死んで)しまったから

【解説】他の出題例として、「すでに此の世にないもの」が意味しているように、説明している文の空欄を埋めるものがある。説明文は「悲劇は( )の出来事である」となっており、( )に入る言葉は「過去」などが正解例とされている。

問6 イ

問7 友・私

【解説】「向き合った互いの顔」の直前で「とはいえ 友よ」と私が呼びかけていることから、「友」と「私」が向き合った互いの顔のことと考えることができる。



問 8 も一度見直そう

問 9 (例) 戦火の跡もとどめぬ、すこやかですがすがしい顔

問 10 ウ

問 11 (例) 悲劇は今もあるのに、現代の人が危機感を持たずにいるから。

【解説】

「地球が原爆を数百個所持して生と死のきわどい淵を歩く」から、「私」は、「原爆のような悲劇は今もまだすぐ隣り合わせにあり、いつ繰り返されてもおかしくない」と考えている。また、現代の人々である「友」の顔を「安らかに美しい」とかかかっていることから、「危機感を持たずに生活している」と考えている。

理由を説明する問題なので、「…から」という形で答えるように注意しよう。

問 12 (地球が) 原爆を数百個所持しているから

問 13 原爆

問 14 エ

問 15 エ

問 16 ①すこやかな今日の顔

②すがすがしい朝の顔

※順不同



問 17 ア

問 18 一瞬にして死んだ

問 19 ウ

【解説】「適切ではないもの」を選ぶ問題。

ア、イ、エは筆者の伝えたいこととして適切だが、ウは不適切。

【ウが筆者の伝えたいこととして不適切な理由】詩には、「地球が原爆を数百個所持しているのに、なぜあなたは安らかで美しいのか」という内容の部分があり、「やすらかで美しい顔」は「原爆の恐ろしさと心から向き合えてはいない顔」として筆者は伝えようとしている。

よって、答えは「不適切であるウ」となる。

問 20 【ア】体言止め

【イ】擬人法

【ウ】対句法

